

マイマイガに注意しましょう！ ～正しく・安全に駆除・除去をお願いします～

令和元年、甲州市内において「マイマイガ」が大発生しています。この虫の生態を理解し、正しく・安全に駆除・除去することで翌年以降の大発生を抑制しましょう。

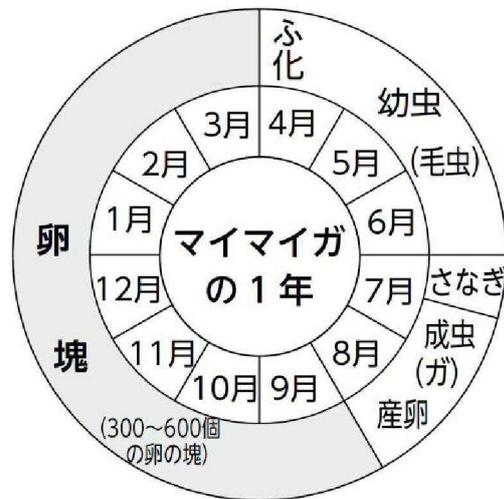
■マイマイガとは

マイマイガはドクガ科の大型のガで、幼虫（毛虫）は山林の落葉樹やりんごなどの果樹のほか、街路樹や家庭の庭木・草花の葉に食害を与えます（5月～7月）。成虫（ガ）は夜間大量に街灯などの照明に飛来し（7月～8月）、秋には卵は300～600個のかたまり（卵塊）で、建物の外壁や照明近くの電柱・樹木などに産み付けられます。

また、概ね10年周期で大発生し、終息までには3年程度かかると言われていることから、大発生した後の数年間は、特に注意が必要になります。



成虫と卵塊



■健康上注意すること

ふ化した直後の幼虫には毒毛があるほか、成長した幼虫では毛が刺さることがあります。幼虫は吐いた糸にぶら下がり風に乗って飛ぶことから、外に乾した洗濯物にも注意が必要です。また、幼虫を駆除する際には、できるだけ肌の出ないような服装にしましょう。

■駆除・除去の方法

幼虫(毛虫)の場合

●幼虫が小さいうちの駆除は、ホームセンターなどで販売している毛虫用の殺虫剤を使用します。

スプレー剤では幼虫が吹き飛ばされ体に付着するので注意してください。農薬を散布する場合は、使用できる植物や散布方法などを販売店や専門の方に相談し、周囲に影響のないようにしてください。

●幼虫が大きくなると、殺虫剤が効かなくなるので、火ばしなどで捕まえ、つぶすか少量の家庭用洗剤を溶かした水に漬けて駆除することが効果的です。



マイマイガの幼虫

成虫(ガ)の場合

水銀灯などの照明に飛来し、近くの樹木や外壁に産卵することから、ガの発生時期に合わせた消灯や誘虫性の低い照明(LED・ナトリウム灯など)への交換が有効です。(消灯する際は、防犯面も十分配慮してください。)

外壁などにとまっている成虫には、ガの駆除に適した家庭用の殺虫剤も使用できますが、説明書に従い、周辺に十分配慮して使用してください。

卵塊の駆除例

外壁などに付いた卵塊は、穂先の固いほうきや柔らかいへらなどでそぎ落とし、土に埋めるか、小袋に入れてしっかりしばった上で、燃えるごみの袋で一般ごみとして出してください。

固めのペットボトルを利用した卵塊の除去方法



穂先の固いほうきで卵塊をそぎ落とす



※駆除用に使用した(カットした)ペットボトルは可燃ごみとして出してください。

■作業中の注意事項

- 成虫や卵塊への作業を行う際には、作業中に舞い上がった鱗毛が目に入ったり吸い込むことを防ぐため、手袋・マスク・ゴーグルを着用するようにしてください。
- 建物高所の卵塊を除去する際は、作業中の転落等に十分注意し無理のない範囲で安全に作業しましょう。
- 電柱や街頭等の高所の除去作業は大変危険ですので、絶対行わないでください。



高圧洗浄機及び動噴機を用いて水で洗い流す
※使用時には周囲の状況を確認してください。

成虫の駆除例

○一カ所におびき寄せる

※電灯機等は熱を持つため注意をして下さい。



照明の下に、ケースに水と少量の洗剤を混ぜ、照明に寄ってきた蛾を溺死させます。



※ ご自宅の庭など個人の土地に発生した場合は、ご自身の責任で適正な処理をお願いします。

また、害虫駆除等については民間の駆除業者へ依頼をお願いします。

(一般社団法人 山梨県ペストコントロール協会:055-227-8816)

公共施設の敷地で大量の卵塊を見つげられた場合は、各施設の管理者までご連絡ください。